

ここが知りたい！ インプラントって何？

歯を失った際の治療法は

1. 入れ歯(義歯)

2. ブリッジ

そして第3の治療法としてインプラントがあります。

インプラントとは、歯を失ったあごの骨に金属でできた人工歯根を埋め込み、それを土台にセラミック等で作った人工歯を取り付けたものです。見た目や咀嚼(噛む)機能においても自分の歯と同様位あるというメリットがある反面、治療費が高額、治療期間が長い、インプラント部分の再治療が困難というデメリットもあります。歯科医師等とよく相談して、ご自身に合った治療法を選びましょう。

自分の歯とほぼ変わらない見た目！



- 骨の成長が止まる成人期から治療が出来る。
- 重度の心疾患や糖尿病がある場合は治療が出来ない場合もある。
- 喫煙は血液の流れを悪くするので治療期間、メンテナンス期間ともに禁煙する必要がある。

入れ歯(義歯) ブリッジ インプラント の違い	入れ歯(義歯)	ブリッジ	インプラント
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 他の残存歯への負担が少ない 多くの歯を失っていても対応できる 治療期間が比較的短い 	<ul style="list-style-type: none"> 土台となる歯と被せものを接着剤で固定するので、違和感がなく安定している 治療期間が比較的短い 	<ul style="list-style-type: none"> 歯を失ったところにインプラントを埋め込み、独立した歯として機能するので見た目も自然で自分の歯と同じように噛むことができる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 部分入れ歯の場合クラスプ(歯にひっかけるバネ)があり、クラスプをかけた歯は、負担が大きくむし歯にもなりやすい 総入れ歯は形が大きく、装着したときの違和感や異物感が大きい 硬いものが食べにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 抜けた歯の両隣の歯(健康な歯でも)を大きく削り、土台としなければならず、その歯には失った歯の分だけ負荷が大きくかかる ブリッジと歯茎の隙間に歯ブラシが届きにくく、汚れが溜まりやすい 多くの歯を失っている場合、治療適応とならないことがある 	<ul style="list-style-type: none"> あごの骨にインプラントを埋め込む手術が必要 治療期間が比較的長い 定期的なメンテナンスが必要 清掃が不十分だとインプラントの周囲に炎症を起こす あごの骨の状態により、治療適応とならないことがある
取り外し	可	不可	不可
費用	<ul style="list-style-type: none"> 保険と保険外があり、保険の場合は比較的安価でできる 	<ul style="list-style-type: none"> 保険と保険外があり、保険の場合は比較的安価でできる 	<ul style="list-style-type: none"> 保険適応外で全額自己負担 1本あたり数十万と高額